

令和七年度 熊本県立大学 文学部 日本語日本文学科 私費外国人留学生選抜
日本語の読解能力及び日本文学（現代文学・古典文学）の理解度についての試験
解答例

【一】

問一 中盤

a いさぎよい

o おおかた

問二

「勝負を投げる」途中であきらめて勝負をやめること

「完膚無きまで」相手を徹底的に打ちのめすこと

「踏ん張る」気力を出してこらえること。

問三
イ

問四

勝敗が見えた時点で潔く勝負を投げることに、勝つための努力なしにあっさり
とあきらめることの違いを理解した上で、引き際を見極める。

問五

問題文の記述、自身の過去の経験のどちらかに言及しているか、自身の決断力に
ついて書いているか

【二】

問一

a ク

o オ

o イ

p ア

問二

5

問三

① オ

② カ

③ ア

④ カ

問四

X 暇なので（手持ち無沙汰なので）

Y まして、後にはどうであろうか。

問五

動詞・五段活用・連体形

問六
ウ

問七 立つ波を／雪か花かと／吹く風ぞ／寄せつつ人を／はかるべらなる

問八 ある人（歌主）が詠んだ（作った）歌が、三十文字あまり七文字であったから。

問九 ときにつき

問十 イ、ウ

【三】

問一

① 太宰治

② 志賀直哉

③ 島崎藤村

④ 芥川龍之介

⑤ 谷崎潤一郎

問二

① 作品名 吾輩は猫である

作者名 夏目漱石

② 作品名 雪国

作者名 川端康成

問三

① イ

② ウ

③ 東京

問四 小泉八雲（もしくは）ラフカディオ・ハーン

問五 省略

問六 省略